



「桜島のみんなとつながる」を目指して

# さくらじま便り

SAKURA  
JIMA  
DAYORI  
第5号

2021年8月発行

春の大祭の浜下りで野尻港に向かう、みこしを担ぐ宮司や氏子の一行

発行・編集 / さくらじま地域おこし協力隊  
Photo・Editor・Design /  
Akane Masudome

冊子をおいて頂ける場所、応援していただける方を募集しております。専用ポストや公式LINEで感想も大募集中です。

| お問い合わせ先・感想 |  
TEL 099-245-2550(増留)  
MAIL a.masudome@sakurajima.gr.jp

## CONTENTS

「特集」春の大祭

地域から愛され、  
守られる 姫宮神社

桜峰校区  
コミュニティ協議会

ワクチン接種予約  
申請サポートを実施

桜洲校区  
コミュニティ協議会

桜島フェリー航送券  
販売開始します

東桜島校区  
コミュニティ協議会

女性学級今年度の新たな  
取り組みを紹介

「さくらじま便り」への  
「お便り」コーナー



## 【春の大祭】

## 地域から愛され、守られる姫宮神社

三月十四日、ホトトギスの声が響く麗らかな朝、野尻町にある姫宮神社にて、「春の大祭」が行われました。

姫宮神社とその謂われ

もともと指宿市の開闢にある枚聞(ひらきき)神社の分社であり、そこには数名の姫宮(ひめみこ)がいたそうです。

しかし、その中の一人の足は馬の蹄(ひづめ)を持った姫宮だったことで、船で海に流され、旧暦の二月、現在の湯之に漂着し、数か月後、再び海へと送られ、旧暦の九月に現在の野尻に流れ着くこととなります。その頃、水不足に陥っていたこの土地で、姫宮が「水を飲みたい、髪を洗いたい」と言うので、たちまち水が湧き、それ以来この野尻町は水の豊富な場所となりました。そうして姫宮もこの地に落ち着いて暮らすようになった、と謂われており、それが今回の春、そして秋に行われる二回の大祭の起源だそうです。



今回の「春の大祭」は、まず本

殿で神の降臨を仰ぐ神事が、月讀神社の國生宮司、そして地域の氏子(産土神・ウジガミが守る土地に住み、その守護を受け、それを祭る人々)の参列のもと、厳かに行われ、その後御神体の姿が見えないよう、みこしに乗せ、いよいよ浜下りが始まります。

白衣に身を包んだ四人の氏子がみこしを担ぎ、さらにその後ろで一人が太鼓を担ぎながら、宮司が野尻港までの道のりをその音で響かせます。その間に、地域の人々は港に続々と集まり、太鼓の音に耳をそばだてながら、みこしの到着を待っていました。

そうして一行が姿を現し、海目の前に用意された祭壇にみこしを下ろすと、いよいよ神事のはじまりです。ご神体をみこし越しに住民が囲む形で座り、宮司より祝詞が読み上げられ、参列者一人ひとりが玉串礼拝を行います。

最後には、直会(なおらい)として御神酒が参列者にふるまわれ、その神聖な儀式を経て、「もとの日常に戻る」様子がその場にいた皆さんの表情からわかりました。

また、この「姫宮様(ヒメミヤサア)」は、野尻にもたらした水やそこから得られる自然の豊かさだけでなく、「安産祈願や子授けの神」としても地域の人々に崇められ、神事に用いられる麻苧(あさお)を女性たちは持ち帰り、昔は妊婦の腹帯に入れていたそうで、今も変わらず子どもや孫に贈るんだそうです。

参列者の中には、この野尻町出身の高齢の父親に代わり、息子とここ数年参列しているという方もおられ、いかにこの姫宮神社が地域の人々を支え、大事にされているのかを、うかがい知ることができました。

姫宮神社の境内は、地域住民の皆さんが定期的に清掃や管理を行い、野尻の守り神「ヒメミヤサア」として大切にされています。

決して大きくはない境内ですが、木々に囲まれ、その木陰が温かさを感じさせてくれます。秋の大祭では、姫宮様が野尻に流れ着いた夜に合わせて、浜下りが行われ、春・秋の年二回行われる行事は現在も地域に引き継がれています。

島内に残る、貴重な伝統行事。地域の方々の高齢化という現実が進む中で、次世代にどのように繋いでいくか。このような地域行事を通して、そのなかにある課題を島内外にお伝えし、共に考えていきたいと筆者も願っています。



## ほかの地域では何してるの？

ワクチン接種予約  
申請サポートを実施

桜峰校区

コミュニティ協議会

五月、六十五歳以上の方にワクチン接種券が市役所から発送されるにあたり、電話、そしてインターネットを通してワクチン接種予約申請にお困りになる方がいるのでは、と高齢率が高い同地域から声が上がりました。そこでコミュニティ協議会(以下、コミュ協)としてできることはないか、と急遽申請サポートを決め、接種券が発送された翌日、五月二十五日から二十八日の四日間、桜峰校区公民館でその対応を行いました。



島内の他の四つのコミュ協や地域の方にもお手伝いいただき、さらに地域の活動を応援したいというドコモ(加治屋町店)さんより、インターネット設備を提供いただきました。

「地域のためにコミュ協としてお手伝いできることはないか」、そのような想いから始まり、皆さんのご協力のおかげもあり、四日間で約二百名近い方が今回のワクチン接種申請サポートを求めて、公民館にて足を運んでくださいました。その後、島内の保健センターでの集団接種が決まり、キャンセル対応もさせていただきましたが、今回の件を通して、地域で求められていることを今後もコミュニティ協議会で実施していきたいと思えます。

桜島フェリー航送券  
販売を開始します

桜洲校区

コミュニティ協議会

これまで、桜峰校区コミュニティ協議会で実施していた桜島フェリーの航送券の販売を、より地域でもお買い求めいただきやすいように、この七月より桜洲校区コミュニティ協議会でも開始することになりました。

十枚単位での販売となりますので、事前予約のうえ、お気軽にご利用ください。



## 購入方法詳細

- ・軽・普通自動車(3m以上4m未満) 10枚 10,000円
- ・普通乗用自動車(4m以上5m未満) 10枚 14,000円

販売枚数: 10枚1組(何組でも)

販売手数料: 100円(1回につき)

販売対象者: 桜島島内の住民

販売日: コミュニティ事務所の開所日  
月・水・金、第1・第3土曜日  
(※祝日の場合はお休み)

時間: 午前9時~12時

販売所: 桜洲校区公民館(桜洲小学校校庭 南側)

※上記開所日が、お休み(会議等により)になる場合がありますので、事前予約を以下へお願いします。

連絡先: 桜洲校区コミュニティ協議会

桜島小池町55

TEL・FAX 293-2252

※緊急連絡先 090-4484-1578(山元)





### 東桜島校区コミュニティ協議会 女性学級 ～今年度の新たな取り組みを紹介～



カルトナーージュに挑戦しました♪

七月十一日、本年度第二回目の女性学級が行われ、「趣味と暮らし」をテーマに雑貨作家の講師を招き、手作り雑貨を学びました。これまでにない学びやテーマを

本学級に取り入れようと、今年度は三種類の新たな学級活動が加わり、今回はその第一回目でした。カルトナーージュという、フランスの厚紙と布などでデコレーションを楽しむ伝統工芸で、今回はそれを簡易的な方法で、ティッシュケースとペン立てを鮮やかに飾りつけました。



真剣に作業しながらも、「あれ、これでいいの?」、「きれいできてるじゃない」と会話が飛び交いながら、あっという間に二時間が過ぎ、参加者同士で、自然とコミュニケーションを取りながら楽しい時間を過ごしました。「孫や地域の子どもと一緒にできるかも」という感想もあり、シンプルながらも、新たな取り組み第一弾は成功に終わりました。

第二、三弾は左記の内容を予定しており、地域外の方で、もしご関心があれば、まずは東桜島校区コミュニティ協議会事務局(二二一―三二五六)へお問合せください。

・9月12日(日) 9時～11時  
筆文字アート by たなかく

・11月7日(日) 9時～11時  
コーヒーの楽しみ方と  
フードペアリングの提案  
by コーヒーソムリエ  
(日本安全食料料理協会)



### さくらじま便りとは

本誌は、桜島に住みながら、そこで見つける日常の素晴らしさや面白さを移住者視点で発見・発信することで、島内外の皆さんと繋がりたいという想いから始まったものです。不定期で、島内の皆さんには、回覧板で本誌をご覧いただける機会を作らせていただいております。今後も地域の皆さんと繋がらせていただきながら、一緒に本誌を作成し、桜島の良さを多くの方に伝えたいと思います!

## 「さくらじま便り」 への お便りコーナー

みなさんからいただいた  
お便りの一部をご紹介します♥



#### 【編集部】

県外からいつも本誌を取り寄せ、楽しんでくださっているポケットワイワイさん、いつもありがとうございます!  
さくらじまで、お待ちしております!

●第四号の女性消防団員の取材によるご本人のコメントが生きていた。  
匿名希望さん

#### 【編集部】

柴田さんのまっすぐな想いをできる限りそのまま伝えたい、とてもこだわった特集でしたので、それをお届けできたことに編集部としても嬉しく思います 涙

●みんなが口頭困っていることを問題提起してもらい、みんなで解決策を意見交換できるとありがたいです。  
匿名希望さん

#### 【編集部】

ご意見ありがとうございます。本誌が地域の困りごとなどの共有や相談の場にもなるよう、少しずつ取り組んでいきたいと思えます。地域のお声など、またいただけると大変助かります。

### 編集後記

ずっと掲載したいと思っていた皆さんの「お便り」。ようやく今回からコーナーを設けることができました!公式ラインやご意見ボックスなどから投稿可能です。宜しければ皆さんのお声をお聞かせください!

「さくらじま便り」  
公式ライン↓

